

群馬交響楽団 ソリスト変更のお知らせ

第 615 回定期演奏会

上田定期演奏会－2026 冬－

- ・第 615 回定期演奏会 (2 月 21 日 [土] 16:00 開演 高崎芸術劇場 大劇場)
- ・上田定期演奏会－2026 冬－ (2 月 22 日 [日] 15:00 開演 サントミューゼ 大ホール)
両公演の《ワルキューレ》第 1 幕に出演を予定しておりましたテノール: 村上敏明氏 (ジークムント役) は、体調不良により出演することができなくなりました。このためジークムント役を片寄純也氏に変更させていただきます。

この変更による指揮者・他のソリスト・曲目の変更はございません。

また、この変更に伴うチケット代の払い戻しはございません。

何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。



テノール

片寄純也

Tenor: Junya Katayose

国立音楽大学卒業。二期会オペラスタジオ修了。『椿姫』アルフレードでオペラデビュー。2002 年二期会創立 50 周年記念『ニュルンベルクのマイスタージンガー』に出演以降、力強く輝かしい響きをもったリリコ・スピントのテノールとしてオペラの舞台に数多く出演。11 年二期会『サロメ』ヘロデ、12 年には飯守泰次郎指揮『さまよえるオランダ人』エリック、同年 7 月二期会創立 60 周年記念『パリアッチ』カニオ、9 月二期会、バルセロナ・リセウ歌劇場、チューリッヒ歌劇場共同制作『パルジファル』タイトルロールと立て続けに出演し、15 年新国立劇場『ラインの黄金』フロー、同『さまよえるオランダ人』(演奏会形式) エリック、16 年二期会『ナクソス島のアリアドネ』テノール歌手／バッカス、18 年同『魔弾の射手』マックス、19 年同『サロメ』ヘロデ、21 年同『タンホイザー』タイトルロール等出演。ワーグナー作品への出演は数多く、21 年東京・春・音楽祭子どものためのワーグナー『パルジファル』タイトルロール、22 年同『ローエングリン』タイトルロール、23 年同『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ヴァルターの他、24 年には二期会で再び、『タンホイザー』タイトルロールで出演、高い評価を得た。コンサート・ソリストとしても、ヴェルディ「レクイエム」やベートーヴェン「第九」等で好評を博している。二期会会員